

中国四国地区大学図書館研究集会 基調講演

香川大学図書館「神原文庫」と 初代学長神原甚造の人物像

—大学図書館デジタルアーカイブの課題も視野に—

令和5年10月13日(金)

香川大学教育学部 守田 逸人

本日の論点

1. はじめに
2. 神原文庫成立の時代背景
3. 神原甚造の人物像
4. 神原甚造の史資料収集
5. 神原文庫の貴重書
6. 神原文庫のいろいろ
7. むすびにかえて 大学図書館デジタルアーカイブの拡充に向けて

1. はじめに

- ▶ 「神原文庫」とは・・・大審院判事など法曹界で活躍したのちの昭和25年に初代学長に就いた神原甚造の収集品。逝去後、昭和29・62年に香川大学へ寄贈。

史資料約1万2千点、所蔵本約1万6千冊超

内容：刊本書籍・公文書・古文書・絵画資料・古地図類・雑誌類等

分野：人文科学・社会科学・自然科学から芸術に至るまで広範囲

神原先生が携わった裁判関係資料や日記類

- ▶ 神原甚造の史資料収集・・・大正11年頃～昭和18年頃にかけて収集。明治～昭和初期は、日本の文化財が大量に市中に流出した時代。
→収集家のコレクションによって成立する私設博物館・資料館・文庫はこの時期の文化財流出と密接に関係。

1. はじめに

- ▶ 「神原文庫」と大学図書館によるデジタルアーカイブ…香川大学図書館HP「香川大学学術情報リポジトリ（OLIVE）」の設置、現状は本学作成のデータ40点のほか、国文学研究資料館作成データ440点（「近代書誌・近代画像データベース」・「国書データベース」）との連携。



近代社会で文化財の継承を担った知識人層のあり方について知り、貴重な一大コレクションの成立過程とその内容を見る！



大学図書館のデジタルアーカイブ構築について考える！

2. 神原文庫成立の時代的背景

▶ 奈良の荒廃と文化財の危機

「今は一卷数万円にも及び天平写経が、明治初年には、奈良にあっては荒縄を以て数十巻づつ束ねられ、古物商の店頭に一束5円の札が附いていた。」

【辻善之助『日本文化史』第7巻（春秋社、1961年）】

※明治初年の1円の価値は、現在の3800倍

▶ 南都東大寺の場合

明治19年(1886)内閣臨時修史局（現東京大学史料編纂所）が把握した東大寺文書[影写本『東大寺文書(第1回採訪)』]のうち、現在東大寺（東大寺図書館）に存在しないものは、3分の1以上。明治19年からおよそ大正9年までの限られた時期に大量に寺外へ流出。

【拙稿「東大寺文書の寺外流出をめぐって」（『年報三田中世史研究』17、2010年）】

※現在一括して国宝指定された東大寺所蔵の文書の点数は8,921点、流出文書の多くは寺家から古筆肆を通じて収集家へ。

（根津嘉一郎（現根津美術館）・五島慶太（現五島美術館）・保阪潤治・水木要太郎・反町茂雄・狩野亨吉・保井芳太郎など、100文書群以上に分かれて伝来）

3. 神原甚造の人物像

①幼少期：香川県多度津生まれ

私は小学校へ上がる前、祖母から教科書の読本巻の一を教わった。これこそ私が文字と云ふものを知った始めであり、又本と云ふものに親しむに至つた抑の端著である。此読本は私の一生に何よりも大きな影響を与えたものである。私を今日に導いた最初の道標でもある。

私は此読本を今も猶大切に保存しているが、其の冒頭に『ハ』『ハト』の文字があり、『ハ』の下に一枚の木の葉が、『ハト』の下に二羽の鳩が描かれて居る。私は祖母が筆の軸で文字をついてハ、ハトと読むのについてハ、ハトと大声で唱えていたことを思い出す。祖母ハ毎日此方法で教へることを倦まらず、私は学校へ上るまでに巻の一を覚えてしまった。

後に聞いた父の話では就学年令には達して居なかつたが学校へ入学を願つたところ試しによこして見よという様な事で仮入学を許されたのであつたが学年末の成績が第一位であつたので其俥つゞけて進学させて貰つたのである

3. 神原甚造の人物像

②青年期：丸亀中学から第三高等学校へ

- ▶ 文学への傾倒…『明星』への投稿…第三高等学校2年在籍時、神原彩翹を名乗り与謝野鉄幹新詩社『明星』へ投稿・掲載を続ける。発表した短歌総数160首。

となりやの 珠数屋の妻の口まめを よしとすむ身と 問はば云はまし

(明治38年4月号掲載)

「京風俗を歌ひまして、誠に面白い歌と思ひます。京女の口まめなお内儀の家は六条あたりで御座いませうか。珠数屋町とかぎらない方がよろしう御座います。となりに住んで居る人は画かきでも何でも宜しう御座います。飄逸な人で、某花子と女名で歌をお詠みになつて、おおさわぎされたりする人かもしれません。」

(与謝野晶子、明治38年6月号)

3. 神原甚造の人物像

③法曹界での活動

- ▶ 判事としての活動・・・明治44年京都地方裁判所判事、大正3年大阪地方裁判所判事、大正9年京都地方裁判所判事、大正13年東京控訴院判事、大正14年大審院判事、昭和20年3月大審院部長（同月依願免本官）を歴任

けいさつはん しょばつれい そぎ

※主要著作：『警察犯処罰令疏義』（神原甚造著、中澤明盛堂、1908）、『刑法詳論』（神谷健夫・神原甚造共著、清水書店、1913）、『民法通論』（中村萬吉著；神原甚造・中村宗雄・外岡茂十郎修補、東山堂書房、1939修補版）など。主に大学講義用の書物

- ▶ 神原文庫所蔵『神原甚造生涯判決記録』

現在、神原文庫には神原先生がかかわった多くの裁判関係資料を所蔵。

総点数不詳。段ボール箱20函程度。今回の調査で、「帝人事件」「河合栄治郎事件」「尾崎行雄不敬事件」等の裁判資料を発見。

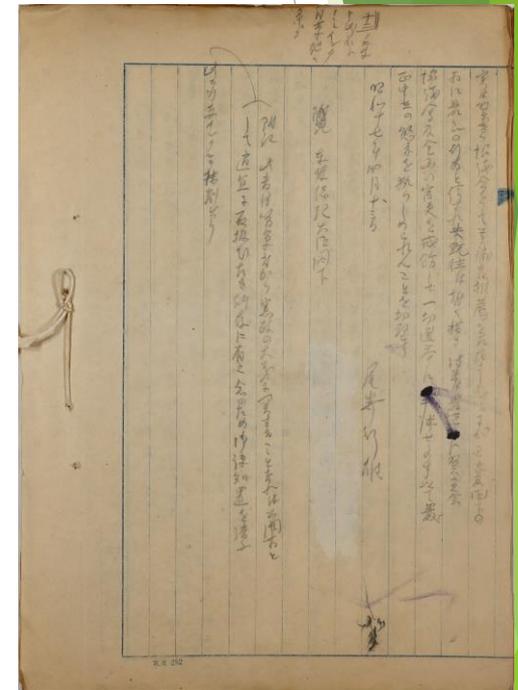
3. 神原甚造の人物像

▶ 尾崎行雄不敬事件の裁判

裁判の経緯...昭和17年12月21日東京地方裁判所有罪(懲役8月執行猶予2年)、昭和18年5月17日尾崎行雄上告、昭和19年6月27日大審院無罪判決。

※昭和17年4月第21回衆議院議員総選挙に際した候補者応援該当演説で、明治天皇からの立憲政治が三代目の時代になり本来の精神を失いつつあるという旨の批判を「売家と唐様で書く三代目」なる川柳を交えて論じたことが、昭和天皇を批判したとして拘束された事件。

- ▶ 上告書や判決書など、公式書類のみならず、裁判の進行過程で神原先生がまとめた調書類などが多く残り、重要。神原先生が判決の決定に際して証拠書類として筆写した、東條英機宛尾崎行雄書簡などもある。



尾崎行雄不敬事件：大審院判事神原甚造調書

3. 神原甚造の人物像

④家族：夫人すみ（大正7年死別）、娘恒子・佐余子。
（恒子の孫は現在東京住）

（一月）十一日、早キモノニテ今日初七日ナリ、朝宝珠院ノ僧来ル、讃岐ノ人也ト云フ、（下略）
（多度津）

（一月）十四日、（中略）一六二千タドツ多門院ニテシキスル、

二月五日（中略）おすみよ、お前はほんとうに始末であつた、何かにつけてむだな入費のない様に々と心がけて居てくれたね、そして物を買ふ時にでもあちこちと聞きあるいて安い店をさがし出していたね、物を買ふ時になるといつも母と妹と三人で其事を話しているよ、（中略）おすみよ、お前はよく自分につくしてくれたね、生きて居る時にはそう思はなかつたが今となつては切に感謝せられる、おすみよ、お前は何故二死んだのであるか、自分は心一杯お前を愛して居た、母も心からお前を可愛がつて居た、実ノ子の様に、妹も姉さん姉さん、と云つて実ノ姉ノ様ニ慕うて居たではないか、そして恒子もある、佐余子も出来た、誠に美しくい家庭であつた、おすみよお前はなぜに死んでくれたか、（下略）

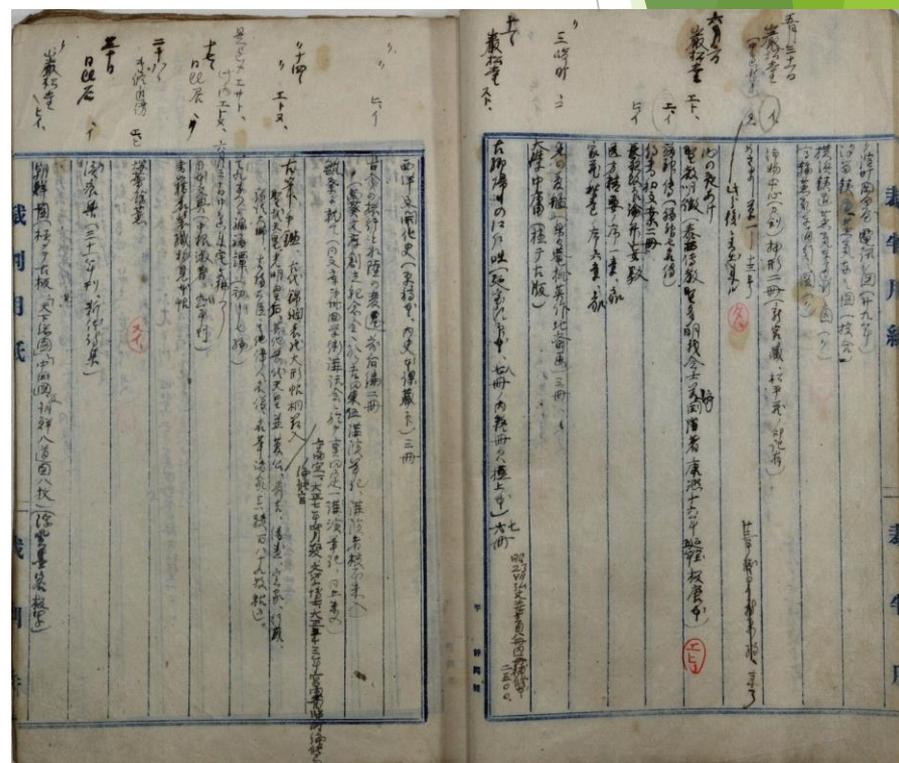
漫筆 神原甚造日記（大正七年）

4. 神原甚造の史資料収集

- ▶ 神原文庫には、史資料等の購入記録（古資料収集記録帖）や領収書・請求書、古書肆との往復などが残されている。当時の文化財の動きとともに、京都・東京に存在した古書肆の情報、そのあり方が判明する貴重な情報に溢れている。

- ▶ 「古資料収集記録帖」の史的価値

史資料の入手元や入手日時を詳細に記録した本資料は極めて貴重。文化財大流出時代における収集家の動向を示すもので、まさに神原文庫の成立過程そのもの。本資料以外に収集家の具体的動向を示すものは他にない。



4. 神原甚造の史資料収集

―神原甚造が親しんだ古書肆 ― 巖松堂との取引書類

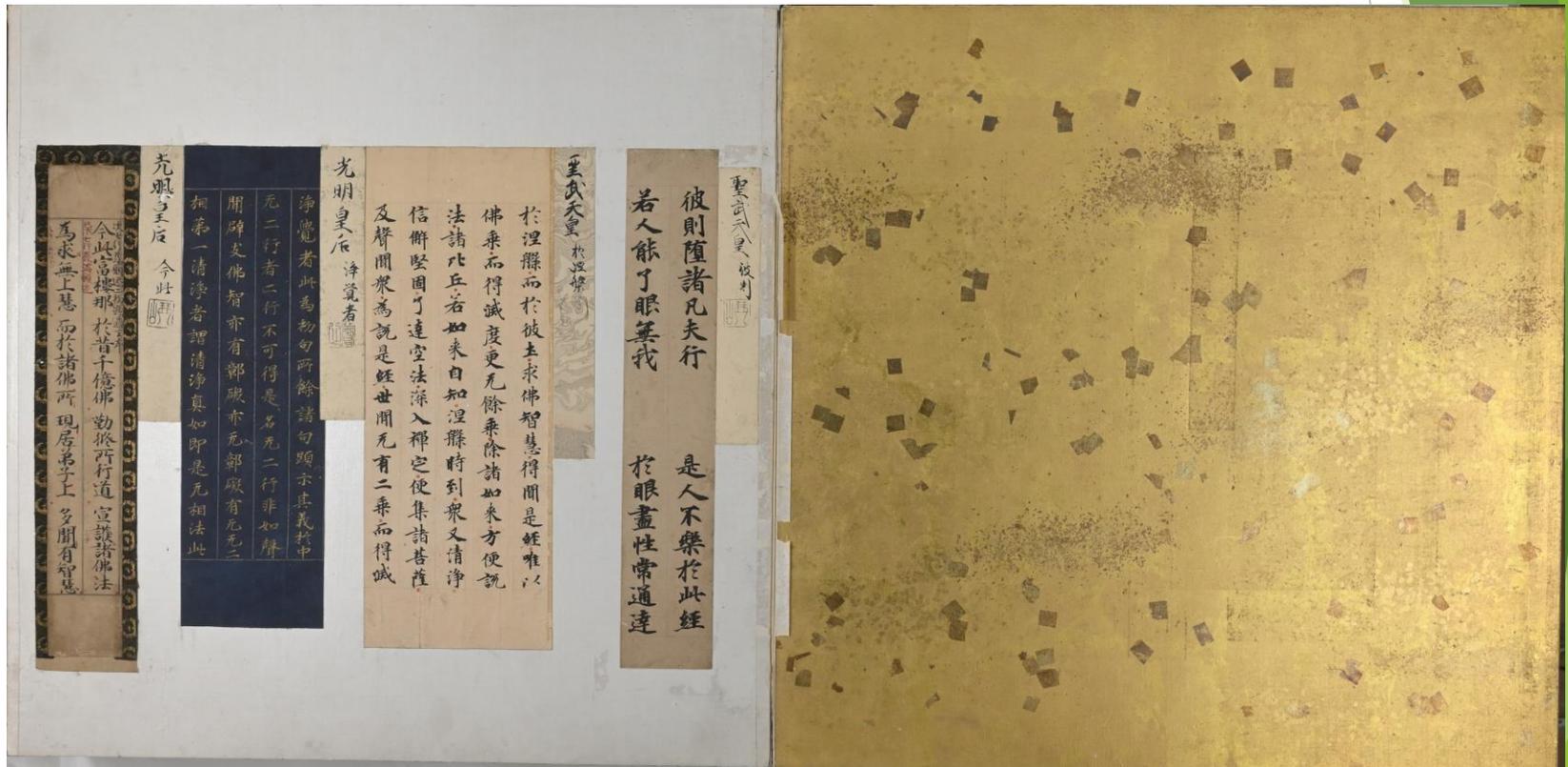
- ▶ 神原コレクションは、確認できる限り250ほどの古書肆から収集しているが、巖松堂からの入手点数は他を圧倒して膨大な数に上っており、記録に残る数で一九五回の取引を行っている。また、1回の取引は多い時で284点の購入も（昭和16年2月3日）。神原甚造は、とくに昭和7年～同9年頃にかけては巖松堂を中心として、ほぼ毎日のように神保町古書肆と取引している。
- ▶ 巖松堂は、1901年（明治34）に東京神田神保町にて波多野重太郎が創業。1903年には出版にも進出し、法律・経済書など社会科学系を中心に4000余点の書物を刊行した。学術書の出版については岩波、有斐閣とならぶ規模を誇った時期もあった。
- ▶ 創業者波多野重太郎の跡は弟子綿引章夫が引き継ぎ、近年まで経営についた。しかし、神保町の古書肆は2010年に閉店した。現在は「巖松堂ビル」として名称が残っている。
- ▶ 上記「計算書并内金領収書」には、後掲の「古筆手鑑」の明細もみえている。

【拙稿「香川大学図書館神原文庫と所蔵史料について」（『古文書研究』90号、2020年）】

5. 神原文庫の貴重書

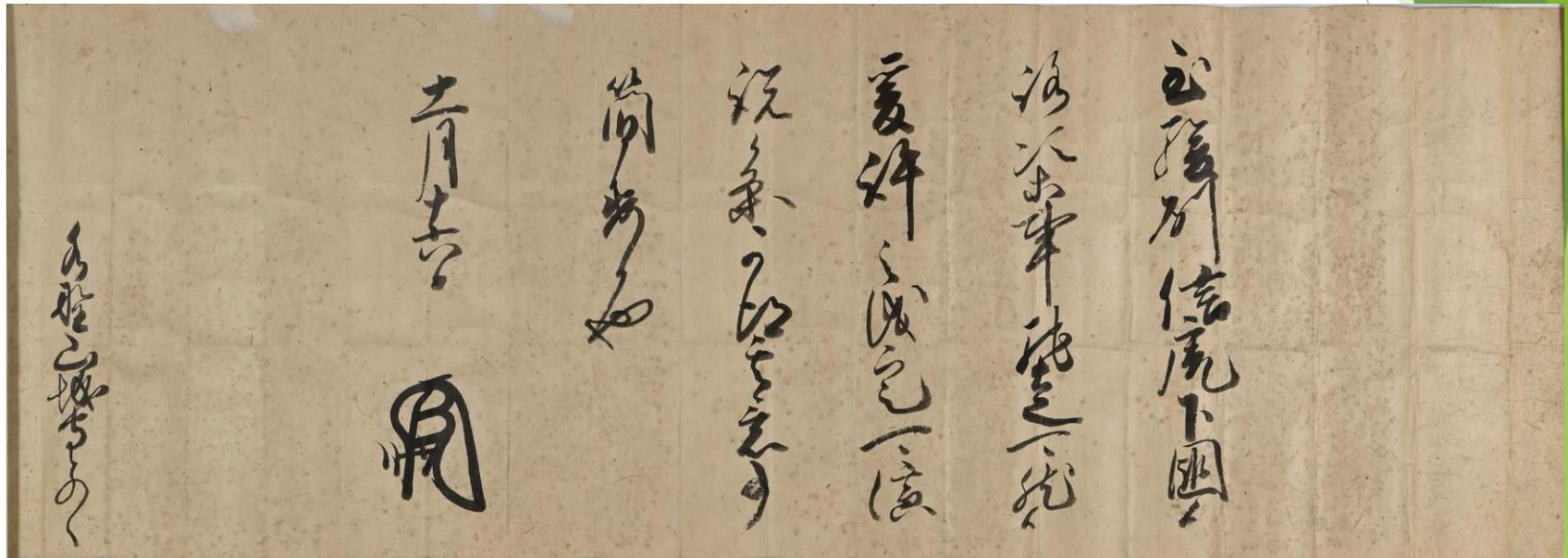
①古筆手鑑：巖松堂より昭和9年6月14日購入。価格100円。

購入時は「百八十九枚」（「記録帖」）と記録されているが、現在は180枚、桐箱表面には、本来何等かの標題等を記した表紙が貼られていた可能性が高い。



5. 神原文庫の貴重書

②足利義輝書状：神原文庫中の近世文書の束から発見。全く学会で知られていなかった史料。伝来の経緯は不明。



5. 神原文庫の貴重書

③朝鮮版「いろは」：訓民正音（ハングル）が公布されて間もない弘治5年（1492）に、朝鮮人のための日本語学習書として刊行された書物。天下の孤本であり、朝鮮にも現存していない。



6. 神原文庫のいろいろ

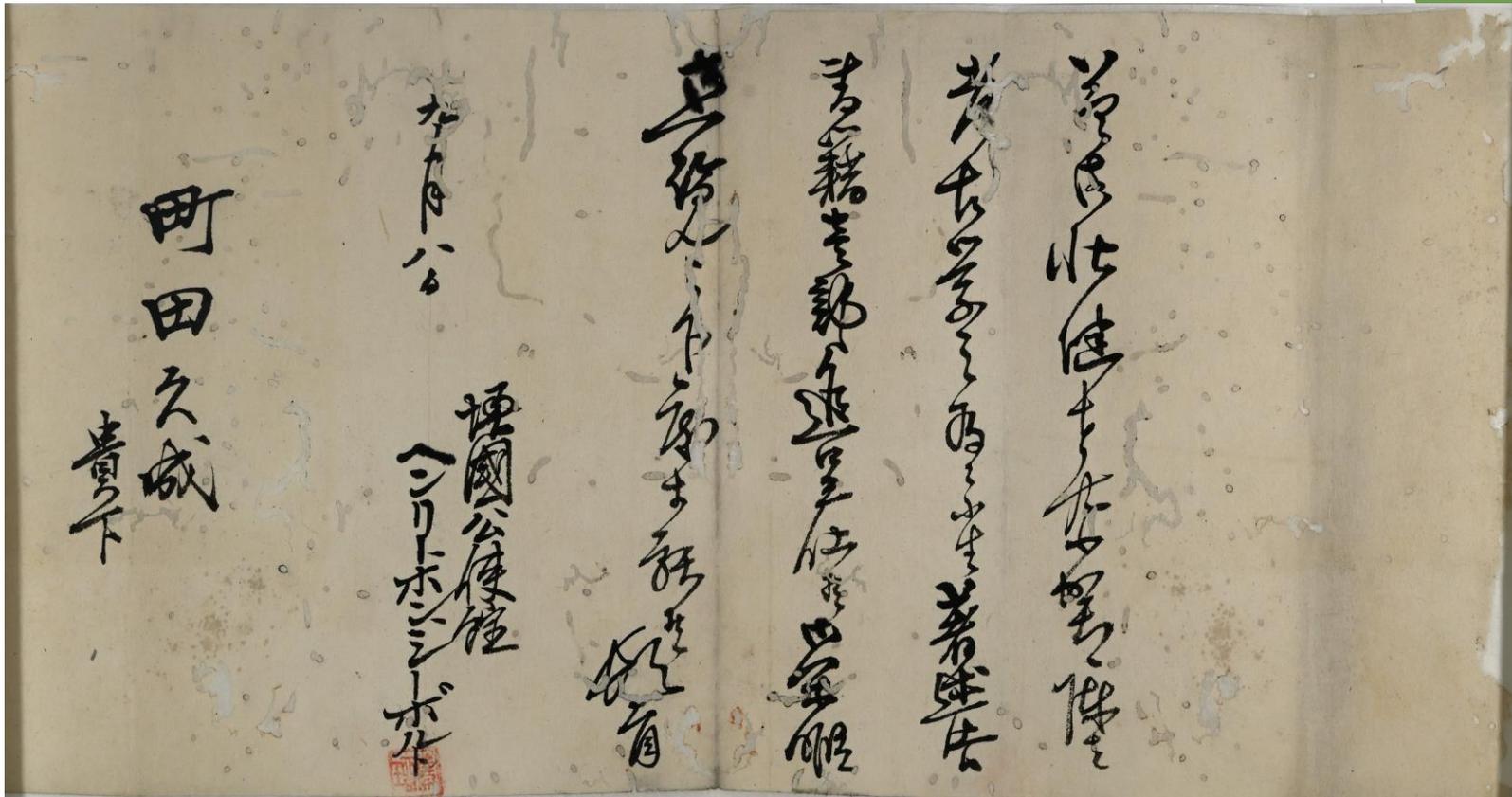
① 雷獣之図：阿部正信 天保2年（1831） 1巻（卷子本）



6. 神原文庫のいろいろ

②ヘンリー・ホン・シーボルト書状

:ヘンリー・ホン・シーボルト (明治初期) 1紙



6. 神原文庫のいろいろ

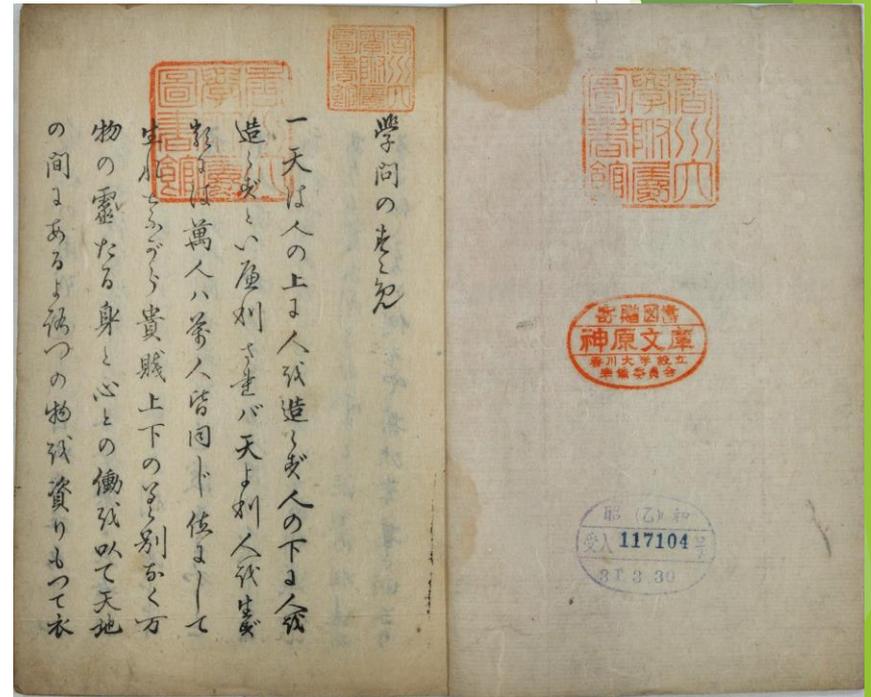
③解体新書

: 杉田玄白訳 寛政10年 1冊



④学問のすゝめ

: 福沢諭吉 明治5年 1冊



6. 神原文庫のいろいろ

⑤ THE MOMOTARO : 和英対訳 明治初年 布製



むすびにかえて

—大学図書館デジタルアーカイブの拡充に向けて—

- ▶ 神原文庫の課題…地域の偉人としての神原甚造に関する研究と発信。裁判関係資料の分析等も課題。また、未調査の個々の所蔵史料についての研究も未熟。史料画像・情報のアーカイブ・公開の工夫も不可欠。

デジタルアーカイブの課題

- ▶ コンテンツの充実と他機関との連携…オリジナルデータ作成・連携事業の充実によるコンテンツの拡充とオープンソース（OmekaやDrupal）を利用した世界基準となるIIIFへの対応、メタデータの横断検索システムの充実。

Ex.東京大学史料編纂所と神奈川県立金沢文庫の連携事例

- ▶ 図書館所蔵史資料情報以外のコンテンツの充実…善通寺所蔵文書・金刀比羅宮所蔵文書など、日本列島を代表する大規模史料群をはじめ、地域に残る極めて貴重な史料・史料情報の蓄積・公開。
- ▶ GIS等を用いた情報発信の工夫…国土地理院地図・google map等、オンライン地図を用いた情報蓄積と公開。

ご清聴
ありがとうございました

